



既存施設も 新型施設も

個別ケアも グループケアも

逆ディサービスも 地域ケアも

施設ケアの次の一歩を考える!

気づきを築く ユニットケア

ユニットケアで支える、利用者の一人ひとりの暮らしと
★ 職員の育ちあい・育てあい★

全国実践者 セミナー in 高知

2007年

2月10日(土)～11日(日)

会場

●10日(土) 高知女子大学 池キャンパス

●11日(日) 高知県民文化ホール オレンジホール

主催:「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナーin高知」実行委員会

inKochi

【趣 旨】

「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」は、2002年に岡山県笠岡市で開催されたのを皮切りに、これまで全国5か所で実施され、数多くの実践現場から、日々の取り組みが報告されてきました。

ひとくちにユニットケアと言っても、その取り組みの内容は施設によって実に様々です。制度にのった**新型施設**での実践のみがユニットケアではありません。**既存施設**を活用しながら、試行錯誤を重ねてようやくユニットケアに至った取り組みがあります。一方で、真新しいユニット型のハードが整っているが、ケアの質が追いつかず、職員もお年寄りも疲れてしまった例もあります。**個別ケア**や**グループケア**というかたちで、**施設ケアを変えよう**とする試みも増えています。

このセミナーでは、「ユニットケアで支える、利用者の一人ひとりの暮らしと、職員の育ちあい・育てあい」と題し、それぞれの現場で取り組まれている、より個別具体的な実践を報告しあい、参加者の皆様とともに悩み、考え、思いを共有し、そして**新たな気づきを積み重ねる場**にしていきたいと考えています。現場実践の苦しさ・楽しさ・喜びを共にするこのセミナーに、みなさんもぜひ、参加してみませんか！？

【共 催】 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

【内 容】

■1日目／2月10日(土) 高知女子大学 池キャンパス

時 間 等	内 容
11:50～12:00	開 会 (各分科会会場にて)
12:00～14:05	各部門発表／実践報告リレー 第1部 (1発表25分×5施設からの報告)
14:05～14:20	休 憩
14:20～16:25	各部門発表／実践報告リレー 第2部 (1発表25分×5施設からの報告)
16:25～16:40	休 憩
16:40～17:55	各部門発表／実践報告リレー 第3部 (1発表25分×3施設からの報告)
19:00～21:00	懇 親 会
ポスター展示	※ポスター展示は、2月10日(土)11:30～17:55が展示時間となります。 なお、16:40～17:30は質問応答の時間となります。

※実践報告リレーについて※

本実践者セミナーでは、現場実践者が、これまでの取り組みを「発表」することにより、自分たちの実践を整理し、新たな気づきを生むものとして捉えています。発表を通して全国の仲間と語りあうことにより、ユニットケアの良さや利用者に関わることの大切さなど、実践者同士が交流することを目的としています。

第1部門	私たちのはじめたユニットケア ―試行錯誤の中から見えてきたユニットケア（初級編）― ユニットケアに取り組むことになったきっかけ、取り組みの中で悩んだこと、上手くいかなかった体験などユニットケア導入時の苦労や展開方法などについての実践報告です。
第2部門	個別ケア徹底検証 ―ユニットケアで見えてきた一人ひとりの暮らしと支え方― ユニットケアに取り組むことで、より個性を重視したケア、すなわち個別ケアが求められるようになります。「三大介護はどう変わったのか」、「暮らしを支える環境とは」など、個別ケアの変化に関する実践報告です。
第3部門	連携と協力のあり方を考える ―支えあいと競いあいの取り組み― 1つのユニットにとどまらず、施設全体で、ときには施設を越えた連携と協力が、現場の試行錯誤の実践を支え、ユニットケアを発展させる力となります。小規模ケアにおける支えあいと競いあいに関する実践報告です。
第4部門	職員育成と組織を考える ―育ちあい、育てあう取り組み― ユニットケアでは組織のあり方も大きく変わります。当然、職員にも力量が求められ、一人ひとりの役割も大きく変わってきます。職員の気づきを大切にする教育や研修、また組織のあり方についての実践報告です。
第5部門	ユニットケアから地域へ ―施設と地域との新しい関係づくり― 逆デイサービスや地域サテライトケアといった、ユニットケアから一歩外に踏み出した取り組みについての報告です。また、「施設の専門性は地域での暮らしをどう支えられるのか」など、地域との連携の可能性も探ります。
第6部門	最期を支えるユニットケア ―より家庭的な環境の中で最期を迎えるために― ときには人生の最期を病院ではなく、ユニットケアで支えることもあります。施設での看取り方、個別ケアをすすめる中から見えてきた医療との連携、そして看取りのあり方など、最期の支え方についての実践報告です。

■2日目／2月11日(日) 高知県民文化ホール オレンジホール

時 間	内 容
09:30～09:50	開 会
09:50～10:50	研究報告1 「ユニットケアでの暮らしを考えるー逆デイサービスの可能性ー」 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>逆デイサービスは、施設に暮らす少人数のお年寄りと丁寧に関わることで、ユニットケアやグループケアへ発展する可能性があります。施設ケアの変革における逆デイサービスの意義と可能性を報告します。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/>研究報告 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 </div> <div> 助教授 藤 井 博 志 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/>実践報告 特養・いずみの園(大分県) 認知症の人と家族の会 高知県支部 </div> <div> 特養事業部長 代 表 岩 崎 深 雪 佐 藤 政 子 </div> </div>
10:50～11:10	休 憩
11:10～12:30	研究報告2 「ユニットケアに地域の暮らしをー住民の地域支え合いに学ぶー」 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>近隣の支え合いやそれを生み出す住民の力を、施設ケアにどのように結びつけるのか、その可能性を報告します。介護保険制度だけでは支えきれない利用者の暮らしを、地域と一緒に支える仕組みを考えます。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/>研究報告 住民流総合福祉研究所 </div> <div> 所 長 木 原 孝 久 </div> </div>
12:30～13:30	昼食休憩
13:30～15:00	高知発・まとめのセッション 「中山間地域での暮らしの継続を支援するー施設改革の流れを問うー」 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>施設ケアは、ユニットケアの導入や個室化の流れなど、これまで大きく変容してきました。このセッションでは、今後の施設改革の流れを展望しながら、中山間地域での暮らしを支えるための、入居型施設の可能性や役割について考えます。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/>パネラー 特養・ひろた(愛媛県) 高知県老人福祉施設協議会 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 津野町社会福祉協議会(高知県) 高知県健康福祉部国保指導課 厚生労働省老健局計画課 </div> <div> 施設長 副会長 代 表 事務局長 課 長 丹 紀 代 楠 目 隆 武 田 和 典 市 川 千 香 松 谷 朗 (調 整 中) </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/>コーディネーター 高知女子大学 社会福祉学部 </div> <div> 教 授 田 中 きよむ </div> </div>
15:00～15:10	閉会

【会 場】 ☆分科会 2月10日(土) 高知女子大学 池キャンパス
〒781-0111 高知県高知市池 2751-1
TEL:088-847-8700 URL <http://www.kochi-wu.ac.jp/>
☆全体会 2月11日(日) 高知県民文化ホール オレンジホール
〒780-0870 高知県高知市本町 4-3-30
TEL:088-824-5321 URL <http://kochi-bunkazaidan.or.jp/~hall/>

【定 員】 1,000人

【参 加 費】 15,000円(当日資料含む)
※特養・老健・医療施設ユニットケア研究会交流会員につきましては、
1会員1人様のみ14,000円となります。

【懇親会費】 7,000円(先着500人)
三翠園 (〒780-8663 高知市鷹匠町 1-3-35 TEL:088-822-0131)

【申込締切】 2007年1月19日(金)
※定員になり次第、締め切らせていただきます。

【参加にあたっての留意事項】

今回の「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナーin 高知」では、会場等の関係もあり、事前にお聞きいただく分科会の希望を受付いたしません。参加者の皆様には各分科会会場に、ご自由に参加いただくことになります。つきましては、希望される分科会にご参加できない場合、もしくは、立ち見となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

お申し込みいただいた方には、申し込み締切後、分科会の実践報告リレーの一覧と会場案内図をお送りいたします。そちらを参考に分科会にご参加いただくことになりますので、ご承知おきください。

【参加に関するお問い合わせ・お申し込み先】

JTB団体旅行仙台支店

〒980-0811 仙台市青葉区一番町 3-6-1 佐々重ビル6階

TEL:022-263-6712 FAX:022-263-6693

担当:鈴木・遠藤

※受付時間・平日/9:30~17:30 土・日・祝日/休み

【内容・発表に関するお問い合わせ・お申し込み先】

「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナーin 高知」実行委員会

事務局:全国コミュニティライフサポートセンター(CLC 大阪) 担当:島田

TEL:06-6965-2022 FAX:020-4622-2459